

かがやく生き物

本紙で何度か紹介しましたが、生き物にブラックライト（紫外線）を当てると、^{けいこう}蛍光を発して光る場合があります。例えば、ピーマンの断面は青や赤など複雑に光ります。

当館では2023年夏に、それらを展示する企画展「かがやく生き物」を開催する予定です。それに先がけ、常設展の自然史コレクションのコーナーで、「かがやく生き物プレビュー」として、ブラックライトで「かがやく生き物」をちょっとだけお見せしています（2023年4月2日（日）まで）。その中から、ブラックライトで強い蛍光を発して、まさにかがやくものを2つ紹介します。

^{かいそう}海藻サンゴモのなかまは、^{いそ}磯に生えるピンク色の海藻で、体がサンゴのように固いのが特徴です（図1上）。これにブラックライトを当てると、強く金色にかがやきます（図1下）。写真では、その様子を十分表現しきれませんが、とても美し

く、その光りかがやく様子は^{あつかん}圧巻です。

ホタルブクロは、初夏に咲かせる多年草で、^{ほたる}蛍を入れて楽しめるような大きな^{つがね}釣り鐘状の花を咲かせることからその名が付けました（図2上）。ブラックライトを当てると花の付け根が本当に^{ほたる}蛍が入っているような色で光ります（図2下）。袋のようになった花びらの内側が光り、その光が花びらを透けて見えています。昔の人はブラックライトを持っていなかったので、このような様子を見て名付けたわけではありませんが、まさに^{ほたるぶくろ}蛍袋の名前にぴったりの現象です。

私たちのまわりには、ブラックライトで光るものがたくさんあります。それを探すのは新しい発見があり、驚きの連続でとても楽しい経験です。来年夏の企画展では、「かがやく生き物」をたくさん展示する予定なので、今まで見たことのない世界にご期待ください。（植物担当：小川 誠）



図1 海藻サンゴモのなかま

上：通常の光で見た時 下：ブラックライトを当てた時

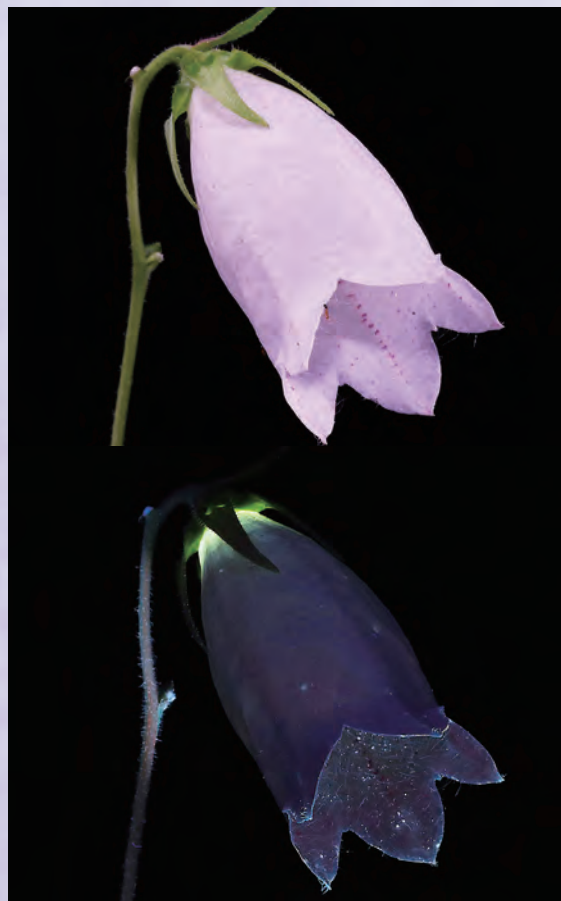


図2 ホタルブクロ

上：通常の光で見た時 下：ブラックライトを当てた時